

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されております。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して職員の配置数は適切であるか。	6		国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、職員数は児童10名までに2人、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配置以上の職員がおります。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		入口の階段（2段）以外は段差もなく児童が転んだりする危険はありませんが、手すりやスロープなどの設備はないため状況に応じて職員が見守り、付き添っていくようにしております。療育の部屋は物等最小限にすることで刺激を減らして落ち着いて取り組める環境作りを心掛けております。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		自由遊び、療育、運動スペースと活動により空間を分けております。毎日の掃除は欠かさず定期的に換気と消毒をおこなっております。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		自由遊び、療育、運動スペースと活動により空間を分けております。毎日の掃除は欠かさず定期的に換気と消毒をおこなっております。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	6		毎月リフレクションをおこない、各自の振り返りを共有し、業務改善に努めております。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		年一回のアンケートを実施し、その意見を全職員で周知・検討し、業務の改善に努めております。アンケートのご協力ありがとうございます。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		年一回のアンケートを実施し、その意見を全職員で周知・検討し、業務の改善に努めております。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	10 職員の資力の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		定期的に社内研修をおこなっています。地域の研修にも積極的に参加し、職員間で共有しております。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		公式Webサイトにて公表しております。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		定期的にあセスメントを実施して、個別支援会議ではその内容をもとに支援内容を話し合い、計画を作成しております。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		個別支援会議を開催し、児童のアセスメントの共有と、保護者様のご意向を踏まえた計画を作成しております。また相談支援員など関係機関の意見も踏まえた検討をおこない、最善の計画になるよう努めております。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		児童発達支援管理責任者が立てた個別支援計画を確認して支援に当たっております。専門的支援実施計画についても児童発達支援管理責任者の立案した個別支援計画に基づいて作成しております。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		標準化されたアセスメントシートを使用し状況の把握に努めております。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		児童発達支援ガイドラインに沿い、支援に必要な項目を適切に選択し、具体的な支援内容の設定に努めております。また日々の打ち合わせや会議で児童の成長度合いや新しい課題を共有し、支援内容の適性を確認しております。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		職員全体会議で、活動プログラムを話し合い、チームで立案しております。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		活動プログラムの固定化や偏りが起きないように職員間で協議し、内容を検討しております。特に運動プログラムは、月に一回話し合いの機会を設け、児童の成長に合わせたプログラムを立案しております。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		児童の発達やニーズに合わせて個別活動と集団活動を組み合わせた支援計画を作成しております。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		毎朝、必ず打ち合わせをおこない、その日の利用児童の支援内容や職員の役割分担を確認しております。	
関係機関や保護者との連携	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		送迎などで当日できないことも多いのですが、翌日の朝礼にて振り返りや気づいた点を共有しております。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		日々の療育内容は当日に記録できるように努めております。支援内容や当日の体調、情緒等も記録し、振り返りに活用しております。	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		定期的な保護者様との面談等で個々の状況に合わせて支援計画の見直しの必要性を判断し、目標設定などを立案しております。	
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	6		児童の状況に精通している児童発達支援管理責任者が担当者会議に参加しております。	
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		小学校や幼稚園の先生に見学に来ていただいたり様子を共有させていただいております。	
	26 併用利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		就学に向けて支援シートの記入や、児童の活動の様子等、情報共有の機会をいただいております。	
	27 就学前の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		就学前の担当者会議等を通して情報提供・共有を図り、支援の方針が統一されるように努めております。	
	28 (28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31 (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受けられる機会を設けているか。	6		就学前の担当者会議等を通して情報提供・共有を図り、支援の方針が統一されるように努めております。	今後は、保護者様のご意向をうかがいながら、企画をおこない、交流機会を作れるように努めてまいります。	
32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6		コロナが第五類に移りましたが、まだいつ移行するか分らなかったため、実施できておりませんでした。	今後は保護者様のご意向をうかがいながら企画をおこない、交流機会を作れるように努めてまいります。	
保護者への説明等	33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6		連絡ノートでのやりとりや、送迎時、場合によっては面談や電話相談を活用して、保護者様との情報交換をおこない、児童についての共通理解を深めております。	
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		保護者様の子育てのお悩みやご相談に寄り添う支援を心掛け、保護者様に支援内容を深くご理解いただき、お悩みの解決手段や、児童の成長のためにご家庭でできる支援や協力に取り組んでいただいております。	
	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に児童発達支援管理責任者により、丁寧に説明をさせていただいております。	
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		定期的な保護者様との面談等で個々の状況に合わせて支援計画の見直しの必要性を判断し、目標設定などを立案しております。	
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		保護者様のご意向や児童の特性、ご家庭の状況を踏まえ、ガイドラインに基づいて作成した個別支援計画は分かりやすい内容の説明を心がけ保護者様の同意を得ております。	
	38 定期的に、家族等からの子育てのお悩みやご相談に寄り添う支援を心掛け、保護者様に支援内容を深くご理解いただき、お悩みの解決手段や、児童の成長のためにご家庭でできる支援や協力に取り組んでいただいております。	6		保護者様の子育てのお悩みやご相談に寄り添う支援を心掛け、保護者様に支援内容を深くご理解いただき、お悩みの解決手段や、児童の成長のためにご家庭でできる支援や協力に取り組んでいただいております。	
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだいたい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		現時点までには父母の会が活動しておりません。	保護者様のご意もうかがいながら保護者会がおこなえるよう企画と検討してまいります。
	40 こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		日々の利用に関するご意見やご相談については迅速に対応できるように配慮しております。苦情へのご相談窓口も設けており、契約時にご説明しております。	
	41 定期的な通信等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		公式ウェブサイトのブログにて事業所の様子を伝えております。また年4回「COMPASSだより」を季刊発行しております。ハグのお知らせ機能では行事予定やお知らせ、毎月の様子を写真とともに事業所便りとして掲載、配布しております。	
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報の使用や使用後の処理、保管については細心の注意を払い、鍵付きの書庫にて厳重に保管しております。	
非常時等の対応	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		児童には状況や特性に合わせた伝達方法を心がけ、児童間のコミュニケーションに支障をきたさないよう説明や情報伝達を心がけております。	
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		事業所の行事に招待することはできていませんが、長期休み中は地域の施設見学や訪問などを通して関わりを持てる機会を設けております。	
	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		各種マニュアルや対策は、事業所に掲示するとともに、定期的な訓練の実施に基づいて見直しをおこなっております。	
	46 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		定期的に避難訓練を実施しております。訓練は児童の特性に応じた参加の方法を考慮しております。	
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を把握しているか。	6		アセスメントで丁寧に聞き取り、職員全員で周知徹底しております。	
	48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		アレルギーの有無に関してはアセスメントの段階で詳しくお聞きしております。アレルギー反応が出た際の対応をお話させていただきます。共通理解に努めております。また、昼食時は机を分けて職員の見守りを強化しております。	
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		各種マニュアルや対策は、事業所に掲示するとともに、定期的な訓練の実施に基づいて見直しをおこなっております。	
	50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		契約時重要事項説明書にて説明をさせていただいております。また、定期的に外部への避難場所のお知らせや避難訓練の実施方法をご連絡させていただいております。	
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		事業所内外で起こった事例を記録し、定期的な振り返りをおこない、情報共有・認識一致に努めております。	
	52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		事業所内で職員研修を実施し、虐待防止について周知に努めております。	
53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		原則として、契約書で身体拘束は禁止となっておりますが、やむを得ず必要となる場合には、児童や保護者に十分な説明をおこない、承諾を得て計画に記載するようにしております。		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体でおこなった自己評価です。